

## 第8章 施設・設備の最適化等について

### 1. 施設・設備の適正管理

当院は現病院の建設から15年ほど経過しており、建物については大規模改修や新設の予定はありませんが、設備については老朽化が始まっていることから、長寿命化のため修繕等が必要となります。今後予定している高額な修繕は表1のとおりとなりますが、その他の修繕にあたっては、価額や必要性・緊急性を勘案し、必要に応じて外部組織の見識を交えた上で、費用を平準化するように実施しております。

医療機器については、近年高額な医療機器の更新が済んでいることから、計画年度中における高額医療機器の更新予定は表2のとおりとなります。医療機器の選定にあたっては、機器の必要性や経過年数、価額等を勘案し、ヒアリングを実施した上で、費用を平準化するように実施しております。

表1

	修繕名	費用(千円)
令和6年度	別館ボイラー煙突更新 電気室空調機更新	65,000 39,000
令和7年度	入退室管理システム更新	54,000

※令和5・8・9年度における高額な修繕の予定は無し。

表2

	機器名	費用(千円)
令和5年度	手術室直接術部照明及び術野映像記録装置	62,150
令和6年度	手術用顕微鏡	59,000
令和7年度	頭・腹部用X線血管撮影装置	107,800

※令和8・9年度における高額医療機器の購入予定は無し。

### 2. デジタル化への対応

医療分野においては、急速に発展するデジタル技術の活用が求められていることから、当院においても患者へのサービス向上及び業務効率化を図るため、デジタル化の推進に取り組んでおります。

具体的な取り組みとしては、

- 電子カルテの運用
- マイナンバーカードの健康保険証利用
- 初診患者に対する A I 問診の実施
- 電子処方箋の導入
- 上十三メディカルネットによる医療・介護施設間の診療情報の共有化
- デジタル人材の育成・採用

を行います。

また、デジタル化にあたってはサイバーセキュリティ対策を徹底する必要があるため、厚生労働省の「医療情報システム安全管理に関するガイドライン」を踏まえ、ランサムウェアによる攻撃に対応できるよう、引き続きセキュリティ対策を進めていきます。